第５回（11月26日）	**「21世紀社会をデザインする――新たなパラダイムを求めて」** 講演 ボブ・ジェソップ氏（イギリス・ランカスター大学） ヨアヒム・ヒルシェ氏（ドイツ・元フランフルト大学） 篠田　武司氏（立命館大学産業社会学部）

2004年度　産業社会学会（教員・院生）共同研究会一覧

回　　日　時	テーマおよび報告者
第１回（５月30日）	「〈危機の時代〉の行為論」 中村　文哉氏（山口県立大学助教授） 鈴木　健司氏（盛岡大学助教授） 「社会的行為理論と予測可能性」 宇都宮京子氏（東洋大学教授）
第２回（６月26日）	オープンフォーラム　ICT時代におけるアクティブ・オーディエンス 基調講演 「なぜGMMPか？ジェンダー，メディア，エンパワーメント」 テレシタ・ハマノ氏（ANWICリソースパーソン／フィリピンCFAエグゼクティブ・コンサルタント） パネルディスカッション 「ICT時代におけるアクティブ・オーディエンス，ジェンダー，メディア・リテラシー」
第３回（７月８日）	「国際交流と異文化理解，異文化間コミュニケーション教育」 影戸　誠氏（日本福祉大学教授，メディア教育センター副センター長）
第４回（７月16日）	「ベトナムにおける障害児教育と教員養成の現状と課題」 グエン・ティ・タイン・ビン氏（ホーチミン師範大学障害児教育学部学部長）
第５回（10月16日）	「マックス・ウェーバーの方法論的合理主義」 矢野　善郎氏（中央大学文学部専任講師） 橋本　直人氏（神戸大学発達科学部専任講師） 河村　有毅氏（立命館大学社会学研究科後期博士課程）
第６回（11月16日）	「スウェーデンにおける労働市場の特徴」 Birger Viklund（ビリヤール・ビクルンド）氏（スウェーデン国立労働生活研究所） Tommy Nilsson（トミー・ニールソン）氏（同）

2004年度に，学部共同研究会（共催を含む）として位置づけ開催した研究会一覧である。